

ギカイだより



GIKAIDAYORI contents

3月定例会の概要……………	2～3
一般質問等……………	4～7
委員会レポート等……………	8
議会報告会……………	9
審議結果等……………	10
政務活動費収支報告……………	11

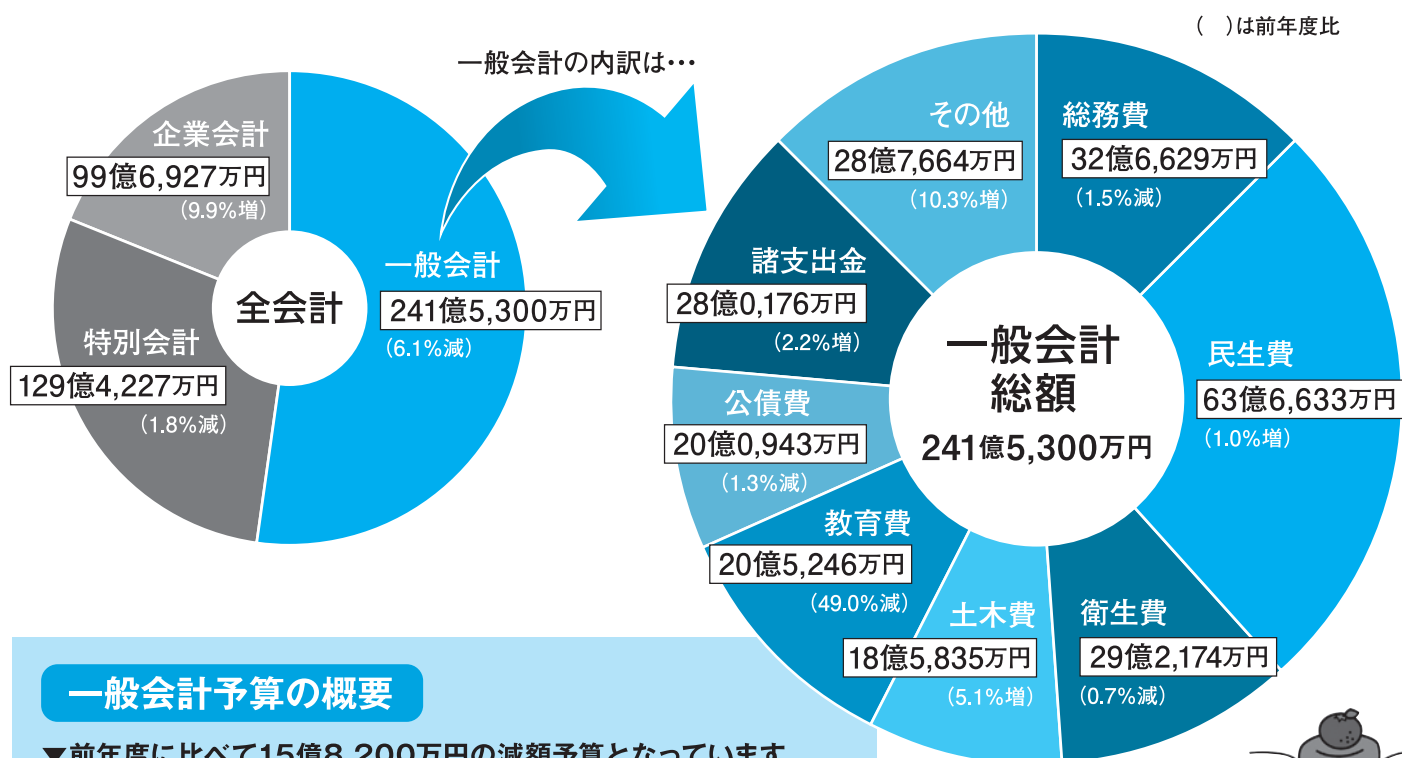
3月定例会の概要

3月定例会では、初日に市長から施政方針が示されるとともに令和5年度一般会計予算など11会計の当初予算案をはじめ、条例制定案2件、条例の一部改正案9件、令和4年度補正予算案3件、令和5年度補正予算案1件の計26件が提案され、各常任委員会での審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には市長より提出された人事案件2件及び議会運営委員会より提出された坂出市議会の個人情報の保護に関する条例が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

(議案の審議結果は10ページをご覧ください。)

令和5年度 一般会計・特別会計・企業会計予算 総額470億6,454万円を可決



一般会計予算の概要

- ▼前年度に比べて15億8,200万円の減額予算となっています。
- ▼歳入では、臨時財政対策債を考慮した実質的な地方交付税は減収が見込まれるものの、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中、個人市民税や固定資産税の持ち直しにより市税収入は増収が見込まれています。
- ▼歳出では、学校給食センターの建設事業が終了し、投資的経費の大幅な減額が見込まれる一方で、企業立地促進助成金等の補助費などが増額の見込みとなっています。

さらには、「坂出駅周辺再整備基本構想」の実現に向けた各種施策のほか、ゼロ・エネルギーハウスの取得費用を一部補助する「だったら、さかいで 本気でゼロカーボン生活応援補助金」等ゼロカーボンの推進にとどまらず、ひいては移住定住の促進を図るなど、「坂出再生」に向けた新たなまちづくり関連事業に、積極的に予算を投入しました。また、子育て世代に選ばれるまちづくりや安全安心のまちづくり、公共施設の老朽化対策などにも予算を重点配分することで生じた財源不足約8億3,000万円については、財政調整基金からの繰入金により対応しました。

用語解説

一般会計

福祉や教育など市民のために広く使われる会計のこと

特別会計

一般会計とは別に国民健康保険事業や介護保険事業など、特定の目的のために使われる会計のこと

企業会計

病院事業や下水道事業のように利用者が負担する経費(診療料や使用料)によって運営される会計のこと

財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金、市の貯金のようなもの



主な議案を Pick Up

坂出市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例

子供の健全な育成と福祉の向上を目指すとともに、経済的負担の軽減を図るため、医療費の助成対象者を、高校生等（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）まで拡大します。

開始時期 令和5年8月診療分から



坂出市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険加入者の出産育児一時金について、下記のとおり変更となります。

変更前：42万円 → 変更後 50万円



補正概要

総務費

受付業務委託料

157万6千円

マイナンバーカード関連業務により支障を来している、受付業務について一部を委託するもの。



教育費

公立小・中学校防災機能強化工事

6,441万8千円

老朽化している西庄小学校、府中小学校及び白峰中学校の屋内運動場における外壁改修工事

内訳 小学校（2校）：3,781万8千円

中学校（1校）：2,660万円





吉田 耕一議員(自民党市政会)

Q&A 一般質問

一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来への方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めたりするために行うものです。

3月定例会でのみ所属3人以上の会派が代表質問(時間120分)を行うことができます。

今定例会では2会派が代表質問を行い、3名の議員が個人質問(時間60分)を行いました。

※質問の要旨を質問順に掲載しています。(代表質問は4～5ページ、個人質問は6～7ページに掲載しています)

代表質問



よしだこういち
吉田 耕一議員

自民党市政会



坂出市の将来像は

Q 市長は坂出市にどのような特徴を持たせ、坂出市の将来像をどのように描いているのか。

A 本市が有する高いポテンシャルを生かし、日々の暮らしの中で、満足感や幸福感を感じられるような「居場所」や「機会」を創出させ、価値観の多様性や居心地のよさ、安全性、環境への優しさなどを実現することにより、「働くまち」と「住むまち」を高い水準で両立させる必要があります。

そのため、坂出駅周辺の再整備をはじめ、あらゆる施策を有機的に連動させることにより、子育て世代をはじめ多様な世代が日常的に集い、交流し、幸せを実感できるような「みんなのココチよさがかなうまち」の実現が本市の目指すべき方向性と考えています。

(市長)

商店街のあるべき姿は

Q アーケードが撤去され、商店街を車両が行き交うようになっただとき、商店街はどのように変化していくか。市長が考える将来の商店街の姿は。

A 車両が行き交うようになれば、利便性が高まり、沿線においてマンションやアパート等の住居の建設が加速するとともに、既存の商店に対する需要も高まることから、新たな店舗の進出につながり、新しい形での商店街の再生、これからの担う若い世代に選ばれるような中心市街地の復活が促されるものと考えています。

商店街が存在するエリアについては、本市がこれから新しいまちづくりを進める上でも、重要なエリアであることから、多様な主体との連携や協働を行い、商店街に人の循環を呼べるようなエリアに変えていき、そのことによって、民間の需要が生まれ、投資も生まれ、土地が動いていくことで商店街が変遷していくと考えています。

(建設経済部長)

複合施設に集約する可能性のある公共施設は

Q 複合施設に集約される公共施設はどのようなものが望ましいと考えているか。

A 坂出駅前の拠点施設整備については、子供から高齢者までの幅広い世代が日常的に利用する図書館機能に、子供たちが安心・安全に遊ぶことができる子育て支援機能、多くの人が集い、交流できる市民活動の拠点機能、また、市外からの来訪者が市内の魅力や情報が得られる拠点機能を付加することで、全ての人のとって「まちのリビング」と呼べる居場所の実現につなげていきます。これらの機能に対し、集約が想定される既存施設は、大橋記念図書館や貸館施設である勤労福祉センター、市民ふれあい会館、中央公民館等が考えられます。

複合施設の整備に当たりましては、求められる機能について、類似する既存の公共施設を再編し、機能を集約・複合化することで、効果的な整備や相乗効果の創出、財政負担の最適化を図っていきます。

(市長)

質問の主な項目

- ・ 市民生活の利便性向上について
- ・ 市立病院の運営・経営について
- など



鳥飼 年幸議員 (政委会)



●各議員のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。

代表質問

質問の主な項目

- ・人事管理について
- ・放課後児童クラブについて

A 坂出商工会議所青年部の主催により、令和4年11月6日に交流の里おうごしにおいて「さかいで婚活物語〜恋の迷宮からの脱出婚〜」と題し、3年ぶりに開催しました。男女定員各21名のところ、男性56名、女性35名と定員を大きく超える応募があり、抽選の結果、男性27名、女性24名が参加したとの報告を受けています。

また、事業報告書によると、11組のカップルが成立しており、独身男女の出会いの場の創出として効果があつたことから、事業の支援を継続していきたいと考えています。

(政策部長)

婚活支援事業の成果



とりかい としゆき
鳥飼 年幸 議員
政委会



自治会の今後の在り方

Q 加入者の減少、行事の参加率の低下など自治会の運営には様々な課題があるが、地域づくりのためには自治会組織は欠かせない存在であることから、今後の在り方についてどのように考えているのか。

A 自治会は、地域住民が相互によりよい自分たちの地域づくりを目指し、自主的に結成された「住民自治の基礎をなし、地域社会づくりの基礎をなすもの」で、また、「地域コミュニティの基礎」と言えるものであり、地域住民と行政との橋渡し役として、各地域における中心的な役割を担っているものと認識しています。

本市においても、あらゆる場面で自治会の理解と協力をいただき、市民参加によるまちづくりを進めていることから、今後も、まちづくりの中核を担っていただく存在として、各地区連合自治会や単位自治会等の協力の下、行政運営を進めていきたいと考えており、自治会組織が抱える課題等についても、連携・協力しながら取り組んでいきます。

(総務部長)

規格外野菜の学校給食での活用

Q 廃棄処分されている規格外野菜を給食で提供することは、食品ロス削減に寄与するだけでなく、生徒・児童にとっても、SDGsを学ぶよい機会になると思うが、所見を伺う。

A 規格外野菜の活用については、地場産品を取り入れる際に関係団体と協議をしましたが、収穫できる規格外品の数量や時期が不確定であり、また、給食センターで調理する食数分の食材を安定的に確保することが困難であること、規格外品の場合、形や重さがふぞろいになり、調理に一定以上の手間がかかること、生産者が販売できない規格外品を収穫し、新鮮な状態で納品することが難しいこと等から、実現には至っていません。

また、地元食材の紹介や生産者からのメッセージを含めた、給食献立の動画を毎日配信するとともに、SDGsの取組として、給食の残菜状況を給食センターと共有するなど学校給食の食材について、生産から調理、喫食、回収などの流れを理解し、食品ロスの削減に向けた意識づけを行っています。

(教育長)

一般質問

Q&A



わかすぎ てるひさ
若杉 輝久 議員
公明党議員会



書かないワンストップ窓口の導入を

Q 市民が申請書等を書くことなく、身分証明書等に基づき作成された書類の記載内容等を確認することにより、交付書類を受け取ることができる書かないワンストップ窓口を導入できないか。

A 書かないワンストップ窓口を導入した場合、各種の申請を一つの窓口で行うことができ、何度も同じことを書く手間の軽減や、手続時間の待ち時間の短縮、窓口を回る数の削減など様々なメリットがあり、担当する職員においても、手続の標準化による業務の効率化が図られます。

自治体が担う業務が増加する中、行政のデジタル化は不可欠となっていくことから、市民等の利便性向上と併せて、業務の効率化を図るため、令和5年度中に書かない窓口の環境整備を行った上で、書かないワンストップ窓口の導入につなげていきます。

(副市長)

化学物質過敏症の症状の理解促進を

Q 化学物質過敏症の罹患者の中には、その症状について周囲の理解不足により、つらい思いをしている人がいることから、市民に対し理解促進につながる広報に取り組めないか。

A 化学物質過敏症への対応は、有害因子あるいは誘発する可能性がある化学物質に近づかないこと、早期に離れること、滞在する時間を短くすること、使用を控えることが有効な手段となっています。生活に身近な疾患であり、誰もが発症する可能性があることから、本市としても市民の皆様に理解を深めていただき、周囲の理解や協力が得られるよう、市ホームページ等を活用し、正しい情報の提供、普及啓発に努めていきます。

(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・ 歴史的資料の保存・活用について
- ・ 消防本部の体制について

など



おがさわら ひろし
小笠原 浩 議員
市民と共に



若者・子育て世帯の移住・定住施策

Q 市内事業所に就職し、本市に定住する若者・子育て世帯に住宅補助を行い、若者・子育て世帯の移住・定住を促進する考えはないか。

A 現在、結婚新生活支援事業補助金や東京圏U・J・ターン移住支援事業補助金を実施しており、必要に応じて見直しを行っています。

さらに、令和5年度には住宅取得費用に対する新しい補助制度として、一定の基準を満たした新築の戸建てのZEH住宅(ゼロ・エネルギーハウス)を取得し、その住宅に居住する方を対象に1戸当たり100万円を補助する「だったら、さかいで本気でゼロカーボン生活応援補助金」を創設します。

新築の戸建て住宅の取得費用に対する補助制度は、若者・子育て世代にとつて、本市に移住・定住する動機づけとなり、将来の人口増につながるものと考えています。

(副市長)

JR坂出駅前に宿泊施設を

Q JR高松駅周辺で大型イベントが開催されたとき、JR坂出駅周辺は最適な宿泊地の一つとなることから、坂出駅周辺再整備においても宿泊施設の誘致は重要であると考えますが、誘致の可能性は。

A 今後、JR坂出駅前空間の再編を進めていく上で、優れた交通利便性も含めた駅前エリアが持つポテンシャルを最大限生かすために、市民や民間事業者との対話等を通じて、駅前における宿泊施設設置の可能性について検討していきます。

(政策部長)



Q&A

一般質問



さいとう よしあき
義明議員
自民党市政会



市広報紙のおくやみ掲載 終了の経緯は

Q 新型コロナウイルス感染症の影響により家族葬が増える中、市広報紙のおくやみは貴重な情報源の一つとなっていたが、令和5年3月で掲載を終了することになった経緯は。

A 近年、個人情報に対する意識の変化から、掲載を希望する方の割合が3割から4割程度となっており、また、掲載を希望されなかった方の死亡に関する情報について、市民からの問合せが多くあり、個人情報保護の観点から対応に苦慮している現状にありました。

さらには、県内8市において、死亡者の情報を広報紙に掲載しているのは本市を含めて3市のみとなっていたことから、令和5年4月から広報紙をリニューアルすることに伴い、掲載を終了することとしたものです。

(政策部長)

市民ホールで 大きなイベントを

Q 香川県公立文化施設協議会からの助成金等を活用し、市民ホールで市民が楽しめるよう、ミュージカルのようなイベントを開催できないか。

A 令和5年度には、市民ホール前広場の整備を予定していることから、外観だけでなく、開催するイベントについても充実させていきたいと考えています。

ダイナミックなイベントを開催するには、ステージの広さ等に制約があるものの、文化の発信地として、近隣施設で開催している内容などを参考にし、ダイナミックなイベントが開催できるよう検討していきます。

(市長)

質問の主な項目

- ・ 施政方針について
- ・ 忠魂碑について

など

変わりゆく坂出 Vol.4 馬返し



平成30年7月
土砂崩れの様子



現在、土砂は取り除かれ、
拡幅のために埋立工事が
進められています。



王越町と大屋富町間の県道16号線は、度々台風により土砂崩れが発生し、通行止めになっていました。そのたびに、トンネルの整備が県道16号線の拡幅がよいのか王越町でも議論がされてきました。

そのような中、平成30年7月豪雨時に坂出側で大小含め16か所もの土砂崩れが発生し、高松側においても土砂崩れが発生したことにより、王越町は孤立状態となりました。その後も、1年にわたり、大型車両の通行止めなどの規制が続き、地元住民からは、安全性が高く、生活道路として機能維持が可能な路線の確保が求められたことから、現在、香川県が実施主体となり道路拡幅整備が進められています。

元知事の金子氏が「こんなに景色のいい道があるのにトンネルは掘らない」と発言されて約半世紀、住民待望の道が完成しようとしています。

委員会 レポート Report

付託議案
18件

教育民生 委員会

全議案全会一致で可決



チャイルドシートの貸出事業開始

令和5年4月1日より、乳幼児用(0～4歳用)のチャイルドシートの貸出しを始めます。

費用 無 料

貸出期間 対象児童が4歳に達する日の前日まで

なお、不要となったチャイルドシートについても再利用のために寄附を受け付けています。
※安全性が保障されているものに限りです。



付託議案
7件

総務消防 委員会

全議案全会一致で可決



マイボトル給水機の設置

給水スポットを設置しマイボトルを推進することで、使い捨てプラスチックの利用の削減を目指し、海の資源を守るSDGsの取組へとつなげ、さらに2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた意識の醸成につなげていきます。



3月定例会の日程

3月 2日	本会議 委員会	施政方針、提案説明 議会運営委員会
3月 8日	本会議	一般質問(代表)
3月 9日	本会議	一般質問(個人)
3月10日	本会議 委員会	議案質疑・委員会付託 議会運営委員会
3月13日	委員会	総務消防委員会の審査
3月14日	委員会	教育民生委員会の審査
3月15日	委員会	市民建設委員会の審査
3月23日	議員総会 本会議	委員長報告 委員長報告への質疑・討論・採決 追加議案の提案説明 追加議案への質疑・討論・採決

付託議案
6件

市民建設 委員会

議案第58号については賛成多数により可決
その他は全会一致で可決



公園の整備を行います

老朽化や駐車場不足など公園利用上の不便を解消し、より多くの市民の皆様が安全で快適に利用できるよう、順次整備を行っていきます。

● 田尾坂公園 駐車場を整備します。

● 東大浜第3公園 フェンスを更新します。

● 香風園 時雨亭のかやぶき屋根の葺き替えと天井等の補強を行います。



高校生を対象に

議会報告会

を開催しました！

3年ぶりに、議会報告会を開催しました。
今回は、初めて高校生を対象にしたほか、
「私はこんなまちに住みたい」というテーマ
で意見交換会も実施しました。



第1部 議会報告会

市の予算や人口についてクイズ形式で
高校生に説明するとともに、令和4年度に
実施した新規主要事業について各常任委
員会から報告しました。



第2部 意見交換会

こんなご意見がありました。

- 部活帰りに飲食ができる施設が欲しい。
 - カフェと一体となった自習できる施設が欲しい。
 - 夜道は暗いところが多く、街灯などを
多く設置してほしい。
- など



多数のご意見
ありがとうございました。

令和5年 3月定例会の審議結果

議員数=19名 表決参加議員数=18名
※議長は表決には加わりません。



市長提出議案

議案第58号 令和5年度坂出市一般会計予算(案)

原案可決に **賛成**

小笠原浩、植原 泰、寒川佳枝、丸岡豊和、山条真嗣、脇 芳美、東原 章
鳥飼年幸、若谷修治、齊藤義明、若杉輝久、茨 智仁、吉田耕一、村井孝彦
大藤匡文、前川昌也、大前寛兼

原案可決に **反対**

野角満昭

全議員が賛成した議案
(可決・同意)

市長提出議案

予 算

令和5年度坂出市国民健康保険特別会計予算(案)など 14件

条 例

坂出市個人情報の保護に関する法律施行条例制定など 11件

その他

坂出市固定資産評価審査委員会委員の選任など 2件

委員会提出議案

坂出市議会の個人情報の保護に関する条例制定

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【議案内容等・審議結果】を
ご覧ください。

3月定例会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市固定資産評価審査委員会委員

倉掛 修司 宮竹 光浩 西田 佳史

◎人権擁護委員候補者

三野 秀行



全国から坂出に!!

本市の施策を調査研究するために、全国各地の議会が本市を訪れています。

1月1日から3月31日に来庁された議会を掲載しています。

1月23日 福島県伊達市議会 防災スペシャリストの取組について

勇退議員セレモニー

定例会閉会後に、今限りで勇退を表明している議員3名の勇退セレモニーが開かれました。皆様には、市勢の発展と市民福祉の向上のために、長きにわたって大変御活躍いただきました。本当にお疲れさまでした。

勇退議員

鳥飼 年幸 議員 通算2期 8年
野角 満昭 議員 通算5期20年
吉田 耕一 議員 通算5期20年



鳥飼議員



野角議員



吉田議員



政務活動費ってなに？

政務活動費とは、
地方自治法に基づき、市長が議員の
調査研究その他の活動に資するため必要な経
費の一部として交付するものです。その交付額
や交付対象については、坂出市議会政務活動費
の交付に関する条例で定めており、各会派
に対し所属議員1人当たり年額25万円を、
またいずれの会派にも所属しない議員に
対し年額25万円交付しています。



(単位 円)

会派名または議員名		会 派 名				議 員 名(無 所 属)	
		自民党市政会	政志会	公明党議員会	市民と共に	野角 満昭	脇 芳美
会派人数		10人	3人	2人	2人	—	—
交付額		2,121,600	750,000	500,000	500,000	250,000	250,000
使 途 の 内 訳	調査研究費	0	176,000	0	0	0	0
	研修費	0	0	0	61,920	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0
	調査旅費	756,760	114,466	0	54,572	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	12,650	0	0	0
	広報費	450,450	0	0	0	108,600	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0
残 額		914,390	459,534	487,350	383,508	141,400	250,000

※令和5年3月31日時点の会派または議員について掲載しています。年度の途中で所属議員数に異動が生じたときや新たに会派が結成されたときは、交付額が変更になります。

どういうことに
使えるの？

会派または議員が行う調査研究、研修、各種会議への参加、広報、広聴、
要請・陳情活動など、市政の課題や市民の意見を把握し、市政に反映するための
活動等が対象になります。政党活動、後援会活動、私人としての活動のための
経費等は対象となりません。

毎年度終了後に、領収書の写し等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に
提出することになっています。議長が収支報告書の内容を確認した後、市長へ
収支報告書の写しを送付します。残額があった場合はすべて市長へ返還します。
さらなる透明性確保のため、収支報告書に加えてすべての領収書をホーム
ページで公開しています。

領収書は添付
しているの？

議員の寄附行為等の禁止について

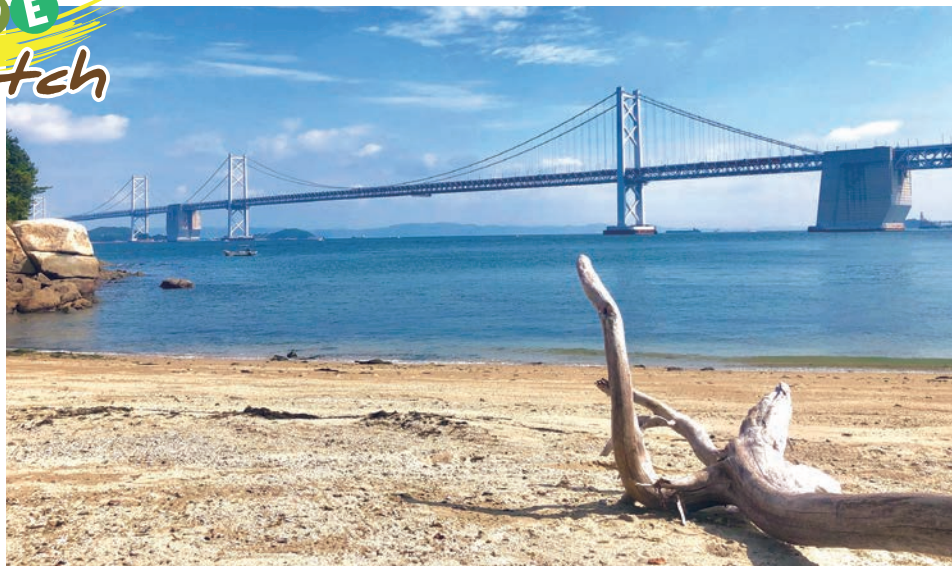
公職選挙法により、議員が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、特定の場合を除いて一切禁止されています。また、
有権者が議員に対して寄附を求めることも禁止されています。※詳細は坂出市議会のホームページに掲載しています。

表紙の
写真

撮影
前谷 博司氏

沙弥島の浜からの瀬戸大橋

今から1300年以上前の話、柿本人麻呂が西国に赴いた際、波風を避けるために停泊した沙弥島で「玉藻よし、讃岐の国は国柄か・・・」の歌を詠みました。そんな古代の万葉ロマンと瀬戸大橋の雄大な景色を感じることができる名所です。



明治時代に建設された石造りの西洋式灯台はおしゃれなおじゃるな〜。瀬戸大橋からも見えるでおじゃるよ!

白亜の鍋島灯台

坂出の与島の隣、瀬戸大橋のほぼ中間地点に位置する鍋島に建てられた鍋島灯台は、明治5年の初点灯から150年にわたって備讃瀬戸航路の安全を守り続け、国の重要文化財にも指定されている、四国で最古の近代灯台です。

編集後記

今年は、WBCで盛り上がりましたね。子供たちの中には将来の日本代表を夢見る子も多くいたのではないのでしょうか。子供たちが夢を追い、叶えていく姿を見るたびに、夢を叶えられる町にと使命感があふれます。勉強ができる子もそうですが、絵・音楽・スポーツを好きな子が高いレベルで続けられる環境を整え、それを発表できる機会もなければと思っています。

市民ホールにはすてきなピアノも入りました。緩衝緑地の整備にもそんな考えを取り込んでいければと考えています。議会もスポーツや文化の発展の一翼を担っていきたいと思います。

(植原)

広報広聴委員会 委員長……齊藤義明 副委員長……若杉輝久
委員……小笠原浩 植原 泰 丸岡豊和
脇 芳美 吉田耕一 村井孝彦

次回開催は…
5月臨時会を5月中旬に、
6月定例会を6月中旬に、
開催予定です。

